

天文学の新時代

朝日選書 468 アラン ライトマン著 森 暁雄訳

この本は現在±20年で、築き、到達して、これから向かおうとする現代天文学の全体像を明快に記述して、文字通り余す所がない。その範囲は太陽、太陽系、星、銀河、宇宙と拡がり、各場所において、物事の軽重を正確にわきまえた記述である。観測手段の点から見て、ニュートリノや γ 線から電波、惑星ミッションにわたる幅広い領域の最先端の手法を紹介している。天文学のみならず、古今東西の歴史、神話そして科学技術にわたる該博な知識をちりばめて知的好奇心を快く満たしてくれる。アマチュアばかりでなく、むしろプロと呼ばれる人々にもおもしろい。最先端の天文学の内容とレベルでありながら、人文系の人もある程度理解できるかもしれない。

この本は天文学、天体物理学調査委員会の将来計画面一いわゆるバーコール報告書一を承けて、その天文学的背景を含めたわかりやすい啓蒙書として書かれたものであろう。1990年代以降アメリ

カが大きな投資をしようとする大型装置とその科学的目標が適当な濃度で、紹介されている。これらの計画の意義を一般国民に広く知らせようとする姿勢と、それを格調高い文章で実現する才能に感心する。内容のほとんどがアメリカの成果であるのは本の性格としても、また実際20世紀の天文学におけるアメリカの卓越した業績からも当然である。衰退する経済の理由から、アメリカの基礎科学の先行きを危ぶむ声もあるが、これを読むと学問的方向性を真摯に打ち出そうとしていることが分かる。これからもアメリカは天文学においてその文化的存在感を示し続けるであろう。わが国では、このように将来計画を立てて、それを世に問いかける、そしてその実現に向かって学界が努力するといった将来計画はほとんどなかったといってよい。その意味でも、意義深い。

翻訳もよくこなれていて、述語等の乱れがまったく見当たらない。本の原名はTIME FOR THE STARS—Astronomy in the 1990s. 著者 Alan Lightman は MIT の理論天文学の教授である。

佐藤 修二 (名大理)

月報だより

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さいますようお願いいたします。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員 (ポスト・人数など)、
2. (1)所属部門・所属講座、(2)勤務地、
3. 専門分野、
4. 職務内容・担当科目、
5. (1)着任時期、(2)任期、
6. 応募資格、
7. 提出書類、
8. 応募締切・受付期間、
9. (1)提出先、(2)問合わせ先、
10. 応募上の注意、
11. その他 (待遇など)。

国立天文台電波天文学研究系教員

1. 教授または助教授 1名
2. (1) 国立天文台・電波天文学研究系
(2) 原則として長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. VLBI (超長基線干渉計) 天文学
4. 国立天文台では、宇宙科学研究所と共同で国際的なスペース VLBI 計画 (VSOP 計画) を進めています。また、内外の研究機関と協力してミリ波を中心とする VLBI ネットワークの構築にも力を入れています。VLBI による新しい天文学の展開を目指し、これらの事業の推進、技術開発、観測的成果の実現に指導的役割を果たす人を希望します。
5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了、又はそれと同等以上の

方

7. ①略歴書, ②研究歴, ③研究論文リスト及び主要論文別刷, ④研究計画, ⑤本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先
8. 平成5年7月30日(金)必着
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 古在由秀
- (2) 〒384-13 長野県南佐久郡南牧村野辺山
国立天文台電波天文学研究系 稲谷順司
TEL: 0267-63-4382
FAX: 0267-98-2884
10. 封筒の表に「電波天文学応募書類在中」と朱記し, 簡易書留でお送りください。選考は国立天文台運営協議員会において行います。なお, 外国籍の方の場合, 法令に基づいて任期を定めることがあります。

国立天文台大型光学赤外線望遠鏡計画推進部教員

1. 助手2名
2. (1) 大型光学赤外線望遠鏡計画推進部
- (2) 当面三鷹。将来ハワイ派遣(望遠鏡サイトはマウナケア山, 標高4200m)の可能性がります。
3. 大型光学赤外線望遠鏡(すばる)計画の推進, 及び関連する研究・開発。
4. 光学赤外線天文学分野ではすばる望遠鏡の建設が進み, 最高性能の観測システムの実現に向けて多様な開発研究を進めています。大型光学赤外線望遠鏡計画推進部のメンバーとして天文学の広い視野と見通しに立ってすばる計画に専念し, 望遠鏡・観測装置・計算機システム・ソフトウェア等の分野において新しい可能性に挑戦し, また近い将来ハワイにおいてすばる望遠鏡の立ち上げ・運用・観測を積極的に進めていく若い研究者を求めます。開発研究の場として, 三鷹の天文機器開発実験センターがあります。

5. (1) 決定後なるべく早い時期。
6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上。
7. ①略歴書, ②研究歴(これまでの研究内容の概要を含む), ③研究論文リスト及び主要論文の別刷, ④自薦の場合は着任後希望する研究計画および本人について参考意見を述べることのできる人2名の氏名・連絡先, ⑤他薦の場合は研究計画もわかる内容の推薦書。
8. 平成5年8月23日(月)必着。
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台 台長 古在由秀
- (2) 国立天文台光学赤外線天文学研究系
海部宣男
〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
(Tel: 0422-34-3610)
10. 封筒の表に「大型光学赤外線望遠鏡計画推進部人事応募書類在中」と朱記し, 簡易書留にてお送りください。

国立天文台天文機器開発実験センター教員

1. 助手1名
2. (1) 天文機器開発実験センター
- (2) 三鷹
3. 天文観測機器・技術の開発研究, 天文工学及び観測的天文学。
4. 今年度新設された天文機器開発実験センターは, 当面はすばる望遠鏡の観測装置開発・技術開発を柱として, 第一線に立つ新しい光・赤外線の観測装置の実現をはかるとともに, メカニクス, エレクトロニクス, オプティクス, ソフトウェア等の技術・設備・スタッフを充実し, 国立天文台の技術開発の中心を担っていく新しい施設です。来年度には, 精密機械工場, エレクトロニクスショップ, 光学実験室, 1.5m赤外線望遠鏡などを備えた開発実験棟が, 活動の場として完成します。将来的には分野によらず広く天文学の観測手段の革新を目指し, 分野間の協力, 大学などと

の共同利用も発展させる計画です。

小林行泰助教教授（センター長）や技術スタッフ、協力者と共に、この新しい天文技術の開発センターを築き上げつつ、当面のすばる望遠鏡用観測装置に関連した開発研究に取り組み、日本の観測天文学を飛躍させていく意気込みを持った若手研究者を期待します。

5. (1) 決定後なるべく早い時期。
6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上。
7. ①略歴書、②研究歴（これまでの研究内容の概要を含む）、③研究論文リスト及び主要論文の別刷、④自薦の場合は着任後希望する研究計画および本人について参考意見を述べることのできる人2名の氏名・連絡先、⑤他薦の場合は研究計画もわかる内容の推薦書。
8. 平成5年8月23日(月)必着。
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台 台長 古在由秀
(2) 国立天文台光学赤外線天文学研究系
海部宣男
〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
(Tel: 0422-34-3610)
10. 封筒の表に「天文機器開発実験センター人事応募書類在中」と朱記し、簡易書留にてお送りください。

国立天文台大型光学赤外線望遠鏡計画推進部教員

1. 助教授 1名
2. (1) 大型光学赤外線望遠鏡計画推進部
(2) 当面三鷹（将来はハワイ派遣）
3. 光学赤外線天文学又は関連する天文工学
4. 大型光学赤外線望遠鏡計画の推進、ハワイ現地での望遠鏡・観測システムの立ち上げ、及び観測・開発研究
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 外国籍の方の場合は任期をつけることがあります。

6. 大学院博士課程修了又はそれと同等以上
7. ①履歴書、②研究歴、③論文リスト及び主要論文の別刷り（共著の場合はその役割分担）、④自薦の場合は研究計画と本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先、⑤他薦の場合は研究計画も判る内容の推薦書
8. 1993年8月2日(月)必着
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台 台長 古在由秀
(2) 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台 小平桂一
(TEL: 0422-34-3601)
10. 封筒の表に「大型光学赤外線望遠鏡計画推進部助教教授応募書類」と朱記し、簡易書留にてお送り下さい。
11. 8m大型光学赤外線望遠鏡の建設は1991年から開始され、1998年にはハワイ現地（標高4200m）での試験観測に入る構想で進められています。当望遠鏡計画推進部は将来ハワイ観測所に移行する予定です。責任者の一人として計画に参加し、研究成果を挙げようという強い意欲をもった方を期待します。

国立天文台地球回転研究系教員

1. 助手1名
2. (1)国立天文台・地球回転研究系
(2)国立天文台地球回転研究系(岩手県水沢市)
3. 地球惑星科学
4. 地球回転研究系・水沢観測センターでは、VLBI、重力絶対測定装置、超伝導重力計などの精密計測手段による地球の回転と変形の測定を基に、グローバル・ジオダイナミクスの研究を行うとともに、これらの精密地球計測手段による月・惑星研究のための実験を進め、宇宙科学研究所のLunar-A衛星による月の回転と潮汐変形の測定と内部構造の研究を目指すプロジェクトにも参加しています。VLBIなどによる月・惑星計測に興味を持ち、

それを手がかりに太陽系の形成、月・惑星の進化、その内部構造ならびに物性等の研究に積極的に取り組む研究者を希望します。

5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上の方
7. ①略歴書、②研究歴、③論文リストおよび主要論文別刷、④自薦の場合は研究計画と本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先
8. 平成5年8月2日(月)必着
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 古在 由秀
(2) 国立天文台地球回転研究系 横山紘一
電話：0197-22-7132
Fax：0197-22-7120
10. 封筒の表に「地球回転分野応募書類在中」と朱記し、簡易書類でお送り下さい。
11. 選考は国立天文台運営協議委員会において行います。

位置天文・天体力学研究分野教員

1. 助手1名
2. (1)位置天文・天体力学研究系 基本位置天文学研究部門
(2)国立天文台(三鷹)
3. 位置天文学
4. この研究分野では、自動光電子午環(Tokyo PMC)を主要観測手段として、天体の運動に関する広範な研究を行っています。子午環など地上観測装置による高精度位置観測データの蓄積と位置天文衛星HIPPARCOSによるデータ取得によって、最近固有運動解析による銀河系研究の新たな展開がはっきりと見えはじめました。そこで、恒星の固有運動・視線速度・物理情報などを駆使したGalactic Kinematicsを当面の研究とし幅広く天文学を展開する若い研究者を求めます。今までの

専門分野は必ずしも問いません。

5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上
7. ①履歴書、②研究歴、③論文リスト及び主要論文別刷(共著の場合は本人の役割分担を明記)、④自薦の場合、研究計画と本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先、⑤他薦の場合、本人に期待できることがわかる推薦書
8. 1993年8月2日(月)必着
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 古在由秀
(2) 国立天文台・位置天文天体力学研究系
宮本昌典(TEL:0422-34-3616 or 3782)
10. 封筒の表に「位置天文学応募書類」と朱記し、簡易書類でお送り下さい。
11. 選考は国立天文台運営協議委員会にて行います。

兵庫県立西はりま天文台研究員

1. 嘱託研究員若干名
2. 兵庫県立西はりま天文台
3. 天文学(光学・赤外線天文学分野の観測者が望ましい)
4. 当天文台における公開業務(観望会を主とする教育普及活動)に携わりながら、天文学の研究を行う
5. (1)決定後なるべく早い時期
(2)原則として1年以上3年まで
6. ①大学または大学院で天文学を専攻した者
②大学または大学院で現在、天文学を専攻している者または専攻した者で、自己の研究のために当天文台を利用しつつ1年以上勤務できる者
③上記と同等以上の者
7. ①履歴書(写真添付、家族状況記載)、②研究業績(研究経歴、論文別刷等あれば添付)③当天文台における研究計画と教育普及活動計

画

8. 1993年6月19日(土)必着
9. (1)〒679-53 兵庫県佐用郡佐用町西河内
407-2
兵庫県立西はりま天文台公園長 森本雅樹
(2)兵庫県立西はりま天文台長 黒田武彦
TEL 0790-82-3886
FAX 0790-82-3514
10. 提出書類は「書留」とし、封筒に「研究員公募」と朱記のこと
11. 報酬年額は200万円以上、規定の交通費を支給しますが、官舎はありません

京都大学総合人間学部基礎科学科教員

1. 助教授 1名
2. (1) 京都大学総合人間学部基礎科学科自然構造基礎論講座
3. 宇宙論(理論)
5. (1) 遅くとも1994年4月1日着任可能のこと。
6. 1957年4月2日以降に生まれた者。自薦に限る。
7. ①履歴書 ②研究歴 ③業績リスト ④主要論文別刷(5編以内) ⑤今後の研究計画 ⑥連絡先・電話番号
8. 1993年6月30日(水)
9. (1) 〒606-01 京都市左京区吉田二本松町
京都大学総合人間学部基礎科学科自然構造基礎論講座教員選考委員会
主査 毛利明博(電話 075-753-6792)
- (2) 同上
10. 「応募書類在中」と表記して簡易書留で郵送のこと

1993年地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「研究助成」について

日本天文学会へ、標記の「賞」および「研究助成」の推薦依頼がまいりましたのでお知らせ致します。

ます。

三宅賞

1. 本賞は地球化学に顕著な研究業績をおさめた科学者に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞牌および賞金(30万円)をそえます。
3. 本賞の贈呈は1年1件(1名)とします。
4. 規定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究科目、推薦理由(400字程度)主な論文10編程度に略歴をそえて、協会事務所までお送り下さい。

研究助成

1. 研究助成は地球化学の研究者で、海外のシンポジウム等に出席し論文を発表する者、ならびに海外における学術調査研究などに参加する者に対して行なわれます。
2. 助成金は1件10万円とし、年に3件とします。
3. 規定の用紙に推薦候補者(各締切日において満40才迄とする)のシンポジウム出席については略歴、研究業績、国際会議名(主催団体、開催場所、開催年月日)論文題目、推薦理由等を、海外学術調査に関しては、略歴、研究業績、調査地(国名、地域名)、調査目的・計画、推薦理由、同行者などを記入して協会事務所までお送りください。

三宅賞の贈呈および研究助成者の発表は、1993年12月4日(土)、東京で行います。

申込締切日は、三宅賞は、1993年8月31日(火)、研究助成は、第1回締切1993年8月31日(火)、第2回締切1994年1月末日。

申込用紙は天文学会事務室に用意してあります。

地球化学研究協会

〒166 東京都杉並区高円寺北4-29-2-217
電話 03-3330-2455 (FAX 兼用)

山田科学振興財団研究援助候補推薦

山田科学振興財団より本会あてに、下記内容の1994年度分研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせ致します。

記(補推要領抜粋)

1. 援助の対象：自然科学の基礎的研究(実用指向研究は対象外)。
2. 援助の金額：300～700万円の援助を10件
3. 推薦件数：1推薦者ごとに2件内。

申請用紙をご入用の方は、学会事務室までお申し出下さい。申請書は、1994年3月10日までに理事長あて提出して下さい。

宛先 〒181 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内
日本天文学会

1993年基研短期研究会「自己重力多体系における非線形・非平衡過程」

日時 1993年9月6日(月)～8日(水)

場所 基礎物理学研究所(606 京都市左京区北白川追分町)

内容 自己重力多体系とは、重力のみで相互作用するような粒子から構成される多体系である。この様な系は、銀河や球状星団といった恒星系のモ

デルとして、天体物理の分野で長らく扱われてきたテーマである。近年、自己重力多体系の研究者の中からカオスあるいは物性物理・非線形物理との関わりを真剣に考えようとする気運が起こりつつあり、カオスや非線形物理への関心が高まっている。一方、カオスや非線形物理の研究者にとっても、自己重力多体系の風変わりな性質は格好の研究材料となると思われる。本研究会では、物性研究者と天体物理研究者の学際的な交流を第一の目的とし、このような学際的研究の第一弾として、両者の共同による最新の研究の成果を発表する。参加希望の方は、下記まで氏名・所属・住所・電話番号・Fax番号・E-mailアドレスをお知らせ下さい。

講演申込締切 7月19日(月)

世話人 相沢洋二、稲垣省五、郷田直輝、小西哲郎、阪上雅昭、杉本大一郎、宮本昌典、山城稔暢、土屋俊夫

連絡先 606-01 京都市左京区北白川追分町京都大学理学部物理学第二教室

土屋俊夫 電話 075-753-3882

Fax 075-573-3886

E-mail tsuchiya@nws841.kyoto-u.ac.jp

名簿訂正

1992年11月30日付で発行した名簿の主な関係機関のうち、下記の部分について誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

| 頁 | 氏名行 | 誤 | 正 |
|-----|--------------|--|--|
| (2) | 東北大学教養部 | 教養部 FAX 022-262-2429 | 理学部基礎物理学教室 FAX 022-263-9279 |
| (2) | 千葉大学教養部 | 千葉市弥生町1-33 0472-51-1111 | 千葉市稲毛区弥生町1-33 043-251-1111 |
| (2) | 海上保安庁水路部 | ----- | 03-3545-2885 (FAX追加) |
| (3) | 国立天文台 | | |
| | 野辺山観測所(太陽電波) | 0267-63-4381 | 0267-63-4498 |
| | 水沢観測センター | 0197-24-7111 | 0197-22-7111 |
| (4) | 大阪教育大学 | 大阪市天王寺区南河堀町4-88 06771-8131 FAX 06-773-5671 | 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 0729-76-3211 FAX 0729-76-3269 |